

山形県雪対策基本計画（第4次）素案の概要

第1編 雪対策基本計画の策定にあたって

計画の趣旨
及び位置づけ

いきいき雪国やまがた基本条例及び豪雪地帯対策特別措置法に基づく基本計画として県が実施する各種の雪対策を計画的に進めていくための指針

計画期間

令和2年度から概ね10年間

第2編 雪の現状と今後の課題

第1章 本県の特徴

- ・ 県内全域が豪雪地帯対策特別措置法による「豪雪地帯」。そのうち特に積雪の多い26市町村が「特別豪雪地帯」に指定されている全国有数の豪雪県
- ・ 雪は除排雪や屋根の雪下ろし、交通等への障害等、県民の生活に多くの影響を及ぼす一方、蔵王山頂付近に世界的にも珍しい樹氷原を作り出すほか、自然豊かな山形の風景、風土を創出し、文化・芸術を育むとともに、暮らしの中での雪を活かした工夫から本県のものづくりが発展。近年は、冬季インバウンドにも大変魅力ある観光資源になっており、経済活性化に寄与

特別豪雪地帯の指定状況



第2章 雪対策の経緯

- ・ 昭和初期、本県出身の松岡俊三代議員による「雪害救済運動」からはじまる「雪対策発祥の地」
- ・ 県では、これまで大綱や計画に基づき、克雪・利雪・親雪といった総合的な雪対策を推進
 - 平成3年3月「山形県雪対策大綱」
 - 平成6年3月「山形県雪対策基本計画」
 - 平成18年3月「第2次山形県雪対策基本計画」
 - 平成22年12月「第3次山形県雪対策基本計画」（平成24年10月一部改訂）
- ・ この中で、第3次基本計画のもとでは、「行動計画」を策定して具体的な取組みを推進
- ・ 平成28年11月には、各界・各層の参画を得てオール山形の体制による「いきいき雪国やまがた県民会議」を創設し、各種施策を展開
- ・ 近年の情勢変化等に対応し、雪対策のさらなる充実を図るため、平成30年12月に「いきいき雪国やまがた基本条例」を制定

第3章 近年の雪に関する情勢の変化

- 1 地球規模での大きな気候変動の常態化に影響された豪雪の頻発
 - …冬期における短期集中的な降雪が頻発。これに伴い被害が甚大化し、その影響も様々な分野に拡大しており、実効性ある対策が必要
- 2 少子高齢化・人口減少の進行に対応した地域の除排雪体制の構築
 - …過疎地を中心とした人口減少・少子高齢化の進行は今後も続く予測。間口除雪や空き家対策など、地域の除排雪の課題について、これまで以上の対応が必要
- 3 雪を魅力ある資源として、積極的に利活用する取組み
 - …雪旅籠の灯り、やまがた雪フェスティバル、樹氷ライトアップツアーなど、地域の取組みが新たな観光資源として高く評価。雪の魅力を活用した戦略的な取組みを更に展開していくことが必要
- 4 雪国での快適な暮らしの実現に向けた新技術の活用
 - …IoT、ロボット等先端技術が飛躍的に進歩。イノベーションを創出し、雪国での快適な生活と本県産業の発展をあわせて実現していくことが必要

第3編 基本方針と実施方針

基本方針

1 雪に強い県づくり

- ①雪に強い基盤整備の促進
- ②冬期間の公共サービスの確保
- ③事業者における雪対策の取組みの強化

2 豪雪災害対策

- 災害級の短期集中豪雪時の緊急対応 等



テーマ

すべての県民が安心して暮らし、
国内外との交流や新しい価値を生み出す
『いきいき雪国やまがた』づくり

3 地域における除排雪の推進

- ①道路除雪体制の充実
- ②人口減少に対応した持続可能な地域除排雪の推進
- ③雪害事故防止の取組みの強化

4 雪を活用した地域活性化

- ①雪を資源として活用する産業の育成
- ②雪に親しむライフスタイルの提案
- ③快適な雪国生活のための技術イノベーションの創出

実施方針

本計画に盛り込まれた各施策の事業実施にあたっては、多方面からの意見等を取り入れ、別途「アクションプラン」を策定し、効率的に遂行

第4編 雪対策の推進（主な取り組みの例）

第1章 雪に強い県づくり

1 雪に強い基盤整備の促進

（1）雪への対策を盛り込んだ都市インフラ整備の促進

- ① 雪対策に配慮した都市計画マスタープラン等の策定促進
…雪に強いまちづくりを推進するための全体の枠組みを構築 等
- ② 横断歩道周辺、スロープ、バス停周辺等の消融雪対策（冬期バリアフリー対策）の整備

（2）豪雪時にも道路交通が確保できる道路網の整備

- ① 道路拡幅（堆雪幅、歩道幅員の確保）、急勾配・急カーブ区間等の道路改良の促進
- ② 地域間交通や物流の要となる高規格幹線道路の整備促進

（3）安全で快適な住まいづくりの推進

- ① 雪処理の負担が少なく快適な克雪住宅団地の推進
…ロードヒーティング、無落雪住宅、流雪溝等を設置したモデル団地の形成 等
- ② 雪対策を見据えた空き家管理の強化

2 冬期間の公共サービスの確保

（1）積雪期でも必要な医療・福祉サービスが受けられる在宅サービス、移動サービスなどの充実・強化

- ① 冬期間も安心して暮らせる地域包括ケアシステムの推進
- ② 福祉型小さな拠点の開設等地域で高齢者を自主的に支える体制づくりの促進

（2）児童生徒の通学の安全を確保するための環境の整備

- ① 通学路の歩道等、交通安全施設の整備や、地域と連携した歩道等の除雪の推進
- ② 遠距離通学者の安全で円滑な通学を確保するスクールバスの整備促進

（3）公共交通事業者と連携した円滑な公共交通の確保

- ① 公共交通事業者との連絡調整の強化
…関係機関との雪対策連絡協議会の設置 等
- ② デマンド型交通システム等、地域の実情に応じた新たな交通サービス導入推進

（4）電力会社、電気通信事業者との雪対策の連絡体制の構築

- ① 事業者との連絡体制の構築

（5）雪に関する情報発信の強化

- ① 降雪の状況・予測、交通状況、災害発生の危険度等の雪に関する情報の一元的な提供
…雪情報総合ポータルサイトの提供 等
- ② SNS、緊急速報メール等を活用した降積雪の状況に応じた防災情報等の積極的な提供
…ゲリラ豪雪の恐れがある場合の緊急速報メール配信等の試験導入 等

3 事業者における雪対策の取り組みの強化

（1）豪雪時の物流の確保など事業継続に向けた取り組みの推進

- ① 事業者における豪雪に対応した事業継続計画の策定促進
- ② 時差出勤やテレワークなど災害が見込まれる場合の従業員の安全確保に向けた対応促進

第2章 豪雪災害対策

災害級の短期集中豪雪時の緊急対応 等

（1）集中豪雪時の道路交通の確保

- ① 関係機関が連携した集中的な除排雪の仕組みの整備
…豪雪対応タイムラインの設定 等
- ② 災害対策基本法の適用による障害車両の排除

（2）地域の豪雪時の対応力の強化

- ① 気象状況に応じた注意喚起等のきめ細かな情報発信
…大雨時の対応を参考とした降雪前・降雪中・降雪後の各段階に応じた情報発信 等
- ② 市町村や自衛隊等関係機関との的確な情報共有による応援派遣要請体制の確保

（3）豪雪時の災害を防止・軽減する防災基盤の整備

- ① 雪崩防止施設、防雪柵等の整備推進

第3章 地域における除排雪の推進

1 道路除雪体制の充実

（1）国、県、市町村の連携のもと効果的で効率的な道路除雪の実施

- ① 道路管理者間の除雪の相互支援の実施
- ② 除雪機械オペレーターの確保及び育成

2 人口減少に対応した持続可能な地域除排雪の推進

（1）地域の実情に応じた除排雪体制の仕組みづくり

- ① 高齢化に対応した持続可能な地域の除排雪体制、雪処理等のルールづくりの促進
…ボランティアコーディネーターの育成、地域ごとの除排雪マニュアルの策定 等
- ② 助成制度等の利活用によるコミュニティ組織活性化への支援

（2）新たな地域除排雪の担い手確保

- ① 地区内外の企業等と連携した除排雪体制の構築
…地区内外の企業（日立キャピタル㈱等）、大学、高校等との除雪パートナー制度の創設 等
- ② 広域的連携による除雪ボランティアの育成、拡大
…地域間での相互ボランティア協定、ボランティアツーリズム等の試行 等

（3）要援護者世帯に対する除排雪支援の充実

- ① 福祉サービスとの連携の強化やICT等の新技術の活用による、きめ細かな要援護者世帯の間口除雪の負担軽減の促進
…ICT（GPS）を活用した除雪管理システムの市町村への導入 等

3 雪害事故防止の取り組みの強化

（1）高齢者等に対する実効性のある雪害事故防止の普及啓発の展開

- ① 高齢者一人ひとりへの直接的・対面的な対応を重視した雪害事故防止の取り組みの強化
…民生委員等と連携した個別訪問、高齢者が集まる地区座談会、医療機関等での普及啓発活動の充実 等

第4編 雪対策の推進（主な取組みの例）

第4章 雪を活用した地域活性化

1 雪を資源として活用する産業の育成

（1）雪の魅力や特性などを活用した県産品等の価値の向上

- ① 雪のイメージ、雪国文化の特徴を活かした地域ブランドの形成
…雪を活用した多様なコンテンツ（観光、農産物、日本酒等）の統一的なPRによる商業化 等
- ② 雪室等を利用した農産物の高付加価値化の促進

（2）山形ならではのスノーカルチャーツーリズムの確立

- ① 「世界の蔵王」プロジェクトを核とした国内外を惹きつける観光地の形成
- ② 観光地間の広域連携による周遊型観光プログラムづくりの推進
…「やまがた雪フェスティバル」等の冬のイベントと温泉地との連携、東北各県やJR 東日本、NEXCO 東日本と連携した観光誘客の展開 等

（3）雪に強い農林水産業、商工業の振興

- ① 次世代型園芸施設の導入等による周年農業の推進
- ② 基幹道路網の除雪の徹底、公共交通機関の耐雪化促進による交通物流の確保

2 雪に親しむライフスタイルの提案

（1）県民自らが雪を楽しむ活動機会の拡大

- ① 地域と教育機関が連携した雪に関する自然学習及び体験活動の推進
…教育現場での「やまがた雪文化マイスター」の活用 等
- ② 生涯スポーツとしての冬季スポーツの普及拡大及び指導者の育成

（2）雪の魅力を活かした首都圏等の情報発信及び交流拡大

- ① 首都圏での雪を活用したイベントの展開
…首都圏 UI ターンフェアでの雪国体験プログラムの実施 等
- ② 移住体験や広域除雪ボランティアの受入れの強化

3 快適な雪国生活のための技術イノベーションの創出

（1）産学官連携による雪に関連した技術開発を誘発する仕組みづくり

- ① 高等教育機関、試験研究機関、県内企業等との継続的な技術開発体制の構築
…産学官連携の「雪国技術イノベーション研究会」による再エネ融雪装置、除雪ロボット等の研究開発 等
- ② 雪の持つ冷熱エネルギーを利用した施設・設備の開発及び普及の推進

計画策定に向けた今後の進め方

時 期	取組事項
1月30日（木）	いきいき雪国やまがた推進県民会議 （計画素案）
県議会 2月定例会	総務常任委員会で報告 （計画案）
2月下旬～3月中旬	パブリック・コメント
3月下旬	計画策定